



# MS303-12003 パフォーマンスダンパーセット

## 取付・取扱説明書

この度はオーリス用TRDパフォーマンスダンパーセットをお買い上げ頂き、有難うございます。  
本書には上記TRDメンバーブレースセットの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。  
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施して下さい。なお、本書は必ずお客様にお渡し下さい。

**本商品の取付けは、車両登録後に行ってください。  
登録前に取付けを行った場合、持込みの新規検査が必要となります。**

### ■品番・適合車種

品番	適合	型式	年式	備考
MS303-12003	オーリス	ZRE186H	'12.08~	注1

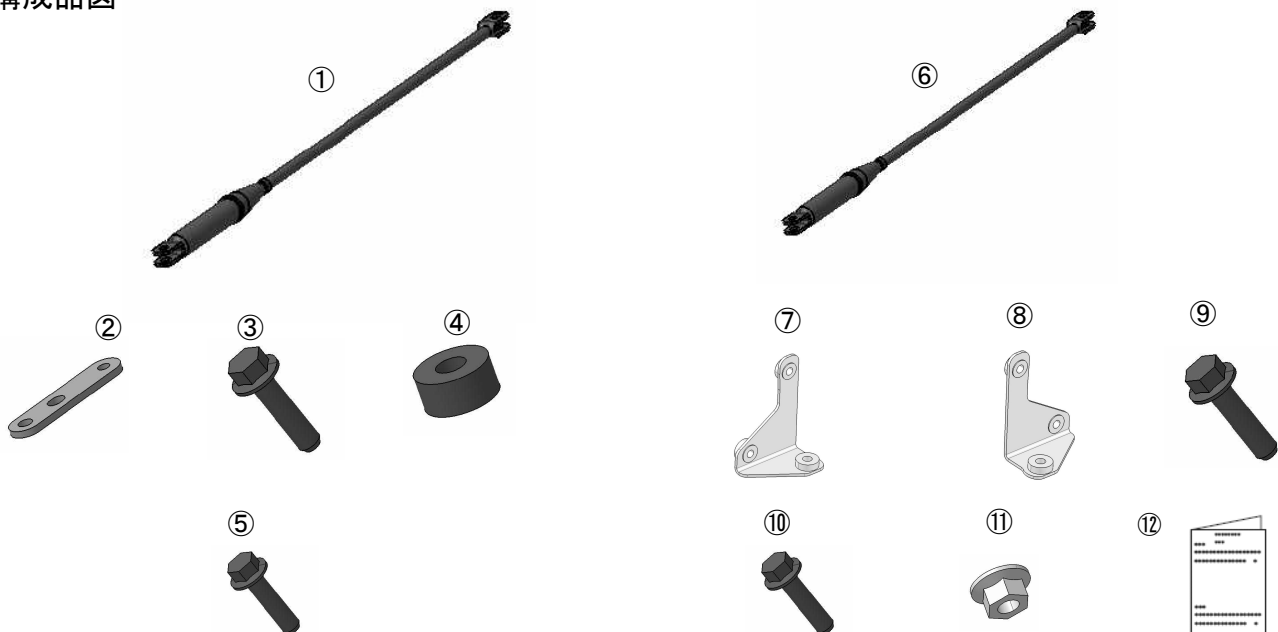
・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。<http://www.trdparts.jp/>

注1: リヤディフューザー(MS313-12002)と同時装着の際は、本品を先に取付けて下さい。  
リヤディフューザー装着済みの車両に本品を装着する際はディフューザーの一時剥がしが必要になります。

### ■構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	パフォーマンスダンパー Fr		1	L850mm 要・確認
②	ダンパーブラケット Fr		2	
③	フランジボルト	91552-L1240	4	②ブラケット ボディー取付用 M12×P1.25×首下40 純正部品
④	スペーサー		2	ダンパーFr締結用
⑤	フランジボルト	91552-B1040	2	ダンパー取付用 M10×P1.25×首下40 純正部品
⑥	パフォーマンスダンパー Rr		1	L821.5mm 要・確認
⑦	ダンパーブラケット Rr LH		1	
⑧	ダンパーブラケット Rr RH		1	
⑨	ワッシャボルト	91671-A0830	4	⑦⑧ブラケット ボディー取付用 M8×P1.25×首下30 純正部品
⑩	フランジボルト	91552-B1040	2	⑤に同じ 純正部品
⑪	フランジナット	94151-81041	4	⑤⑩に使用 純正部品
⑫	取付・取扱説明書(本書)		1	

### ■構成品図



## ■ 取付取扱上の注意

### ⚠警告

この内容に従わず、誤った取付、取扱を行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。

### ⚠注意

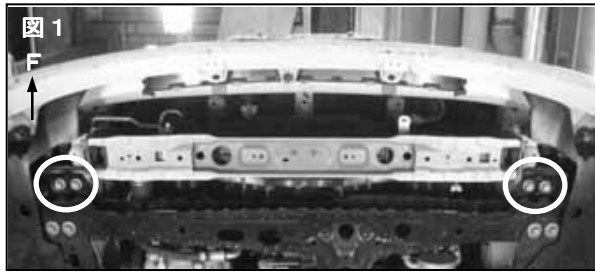
この内容に従わず、誤った取付、取扱を行うと、人が傷害を負ったり製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。

**※確認**・本商品到着後は直ぐに開封し、内容物に破損がない事、本書に記載されている付属品がすべて揃っている事を確認して下さい。本商品は過去に事故歴の無い車両に確実に取付け出来ます。

- ⚠注意 本商品の取付け、交換の際は該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行なって下さい。
- ⚠注意 本商品は未登録車両への取付けは出来ません。必ず車両登録後に取付けを行なって下さい。
- ⚠注意 取付作業や、走行にともない、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。上記事項と本書の装着手順を必ずお守り下さい。
- ⚠警告 本商品の取付作業・部品交換は必ず専門の整備工場で行なって下さい。
- ⚠警告 本商品は適合車種以外には使用しないでください。破損や故障により、重大な事故を招く場合があります。
- ⚠警告 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを停止し、パーキングブレーキがかかっていることを確認後、行なって下さい。不安定な場所での作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
- ⚠警告 エンジンルーム、マフラーなどの付近で取付作業を行なう際は、必ず各部が冷えていることを十分確認後、作業を開始して下さい。熱い状態で作業を行なうと、ヤケド等の重大な傷害を負う場合があります。
- ⚠警告 車両に付いている純正ボルト・ナット等を再使用する部分については、ボルト・ナットが錆びたり劣化したりしている場合、必ず新品に交換して下さい。
- ⚠警告 取付けの際は、指定トルクに従って各ボルト・ナット類を十分に締め付けてください。取付時に緩みがあると徐々に緩んできて、脱落などにより重大な事故を招く恐れがあります。
- ⚠警告 取付後、本商品と他の部品との干渉を確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談下さい。そのまま走行すると破損や故障の原因となり、重大な事故を招く場合があります。
- ⚠警告 取付後、最低地上高90mmをクリアしている事を確認して下さい。
- ⚠警告 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意下さい。
- ⚠警告 急発進、急制動、急旋回などの無理な走行、乱暴な運転は本商品に過剰な負担をかけ、損傷、故障の原因となるばかりでなく、重大な事故の発生をも誘発することになりますので、絶対におやめ下さい。
- ⚠警告 本商品は基本的に舗装路での走行を想定して設計されています。悪路での走行は充分な安全スピードで走行するようお願いします。
- ⚠警告 本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に、変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用をおやめ下さい。
- ⚠警告 走行中に異常を感じたら直ちに安全な場所に停車し、取付部分をよく点検してください。そのまま走行を続けると、重大な事故の原因となる場合があります。
- ⚠警告 本商品への改造、加工は絶対に行なわないでください。保証が受けられないだけでなく、破損や、重大な事故の原因となる場合があります。

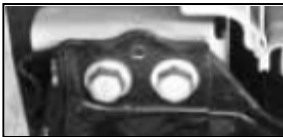
## ■ TRD パフォーマンスダンパーセット取付要領

**△注意** 車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)、及び本書に従い、確実な作業を実施して下さい。



RH 丸部拡大

LH 丸部拡大

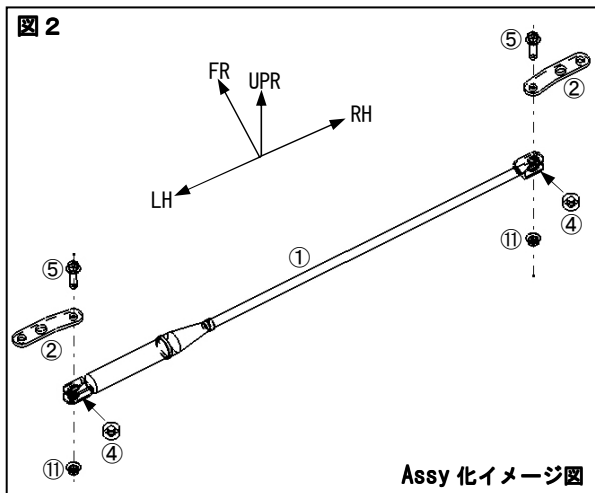


### 1. フロントパフォーマンスダンパーの取付準備

1. エンジンアンダーカバー&アンダーカバーN o 1を取外す。
2. 図1のようにフロントクロスメンバーSUB-Assyの取付ボルトフロント側2本(丸囲み)を、左右共に取外す。

#### △注意

1. 指定ボルト以外は外さないで下さい。
2. 外したボルトは再使用しません、構成品③のボルトを使用して下さい。
3. パフォーマンスダンパーはサスペンションメンバーとラジエターローアサポートの間に取付けます。
4. アンダーカバーは再使用しますので、リテーナー類と共に保管して下さい。



Assy 化イメージ図

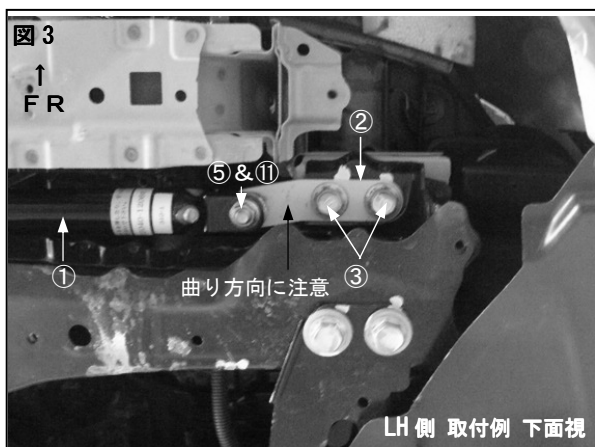
### 2. パフォーマンスダンパー×ブラケットの組付

(図2を参考にダンパーとブラケットを仮組付する)。

1. パフォーマンスダンパー両端に図2の矢印のようにスペーサーを入れる。
2. パフォーマンスダンパー上面に②ブラケットを置き、⑤のフランジボルトを挿入し、⑪フランジナットで止める。

#### △注意

1. パフォーマンスダンパーはシリンダー部を助手席側(LH側)に、品番ラベルは下向きにして取付けます。
2. 車両への取付時に②ブラケット先端の曲がり方が車両後方向きとなるように仮組付けして下さい。(図3)
3. ⑤×⑪は仮締めにして下さい(本締めは後述)



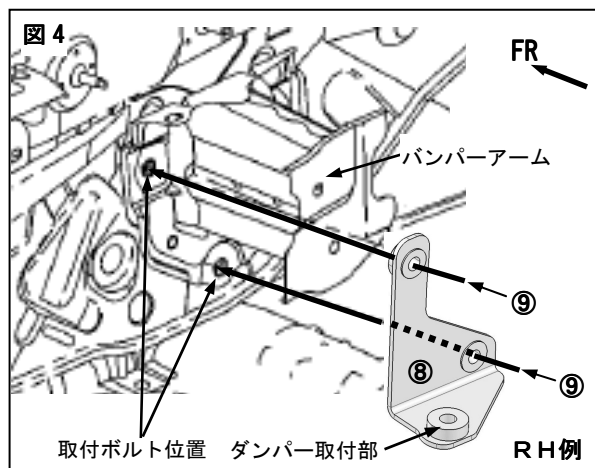
LH側取付例 下面視

### 3. Assy化したパフォーマンスダンパーの車両取付

1. 仮組付でAssy化したパフォーマンスダンパーを車両に取付け、③フランジボルトを使用し96Nmにて締付ける。(図3はLH側取付例・ブラケットの曲りに注意)

#### △注意

1. ③のボルトは規定トルクで締付けますが、パフォーマンスロッド取付けナットは、仮締めのままにして下さい。
2. ②ブラケットの曲り方向を確認して下さい。パフォーマンスダンパーのシリンダー部がラジエターローアサポートに干渉の場合は逆付けと思われるます。



#### 4. リヤパフォーマンスダンパー取付準備

1. リヤバンパー下側のアンダーカバーを取外す。

##### △注意

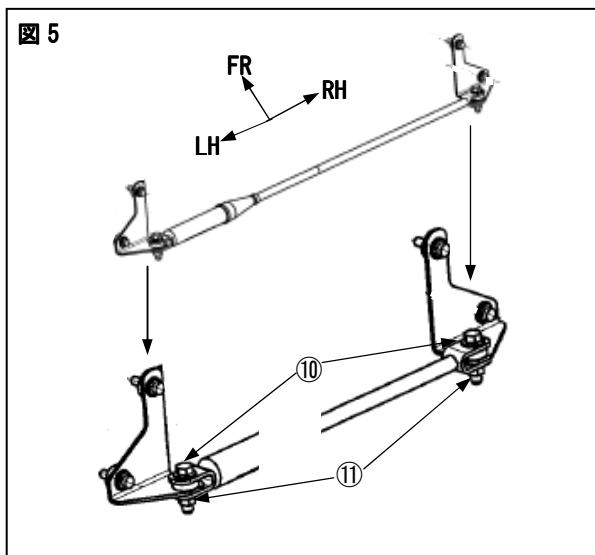
1. バンパーカバー自体の取外しはしません。
2. 外したアンダーカバーはパフォーマンスダンパー装着後に復元しますので、クリップ類と共に保管して下さい。

2. ロアバックパネルのバンパーアーム取付ボルト3本の内、図4 RH例に示す車両センター寄りの2本を取外す。

##### 🔧アドバイス

バンパーアームとは、リヤバンパーカバー内に有り、リーンホースメントを取付ける為の角部。本車にはリーンホースメントは無く、バンパーアームのみです。

3. 構成部品⑨のワッシャボルトを使用し、構成部品⑧のダンパーブラケットを取付け、11.5 Nmで締付ける。
4. LH側も同様に交換する。



#### 5. パフォーマンスダンパーの取付

1. パフォーマンスダンパーのシリンダー部がLH(助手席)側になり、品番ラベルが下向きとなる状態にし、上記作業4で取付けた左右のダンパーブラケット間を繋ぐ形で図5のようにパフォーマンスダンパーを取付ける。
2. パフォーマンスダンパー端末部にブラケットの穴部を合わせ、上側から⑩ボルト(⑤に同じ)を入れ、⑪ナットで仮留めする。

#### 6. パフォーマンスダンパー取付ボルト・ナットの本締付。

1. 前後共にパフォーマンスダンパーを取付けた車両を作業ビット又は乗上式のプレートリフト上に移動する。
2. 車両取付時に仮留めしてあるパフォーマンスダンパーの取付ボルト・ナット前後4か所を55 Nmで本締付する。

##### 🔧アドバイス

パフォーマンスダンパー締付けは、4輪に正常な荷重が掛かっていてダンパー自体にはストレスの掛かっていない状態で締付けて下さい。

#### 7. アンダーカバー類の復元

- ・作業1と4で外した前後のアンダーカバー類を復元する。

8. 3 Km程度の通常走行を行い、異音等の無い事を確認する。